

農林水産省

マルシェ・ジャポン・プロジェクトに応募をご検討の皆様へ

最近のマスメディア等で、農業をめぐる厳しい情勢や農政改革に関する話題がクローズアップされる機会が増えております。その一方で、地域レベルでは、農業と観光産業、IT企業、加工・小売業などが連携し、成功を収める事例も出てきております。

今後、農業をめぐる様々な課題に対応していくためには、実は、こうした農業以外の分野や異業種からの新しいアイデアやコンセプトの提案、ノウハウ・技術の導入と、これらを触媒とした具体的なプロジェクトの構想・具体化・実行が鍵になるのではないかと実感しています。

今回のプロジェクトのテーマは、「大都市において生産者と消費者を直接結びつけること」です。コンセプトは単純明快です。これを一過性の「産直イベント」と捉えれば実行は容易でしょうが、継続的な経済社会システムとして定着させようとするると、

- ・ 担い手不足、高齢化が進む中、出店する生産者をどのように募集・確保するのか
 - ・ これまで消費者と直接向き合ったことがない生産者をどのように啓蒙・教育するのか
 - ・ 生産地から販売地点までの効率的な物流体制をどう構築するのか
 - ・ 生産者に代わり「語って」販売できる要員をどのように育成・確保するのか
 - ・ 立地調整や運営方法、既存のチャンネルとの関係、収益確保をどうするのか
- 等々、相当ハードルの高い事業であることがご理解いただけると思います。

しかしながら、もしこうしたハードルを乗り越えることができれば、消費者にとっても、生産者にとっても、そしてプロジェクトを担うこととなった企業・団体等の方々にとっても、大きなメリットを還元できるポテンシャルを秘めた事業ではないかと考えております。

この事業が、我が国の農業に改革やイノベーションをもたらす、いわば「呼び水」となれば幸いです。

皆様の積極的なチャレンジを期待しております。

(プロジェクト担当者一同)

I マルシェ・ジャポン・プロジェクト 実施の考え方

2009. 05. 26

()

()

()

()

PR

()

2

3

()

()

2011 3

1.5 2

()

2010 4

2012

()

()

()

1

1.5m

3m

2

()

110

3

x 4

x 9

2

1

()

10

17

7

11

19

8

()

()

1

30

()

15

5

15

5

50

5

10

20

5

100

10

()

1

2

2

30

()

()

()

3

PR

()

IC







()

()

()

3

以上

						
		10	11 	12	13 	14 
15	16	17	18 	19	20 	21 
22	23	24	25 	26	27 	28 
29	30	31				

×

10

54,000

21

20

)

.
. .
. .
. .

別紙1

審査項目及び評価のポイント

1 マルシェの設立及び運営(マルシェ運営者)

審査項目	評価のポイント	課題提案書作成のポイント
(1) 事業内容及び実施方法		
①事業の目的趣旨との整合性及び事業内容の妥当性	事業内容が、本事業の趣旨及び目的に合致しているか。	事業内容(様式1-3)に、事業のコンセプトを記載願います。
	開催規模及び日数	開催日及び開催規模を記した開催計画を作成願います。
	会場の確保が見込まれるか。	具体的会場名を記載したうえで、会場ごとに「調査中」、「交渉中」、「確保済」の別を記載願います。
	開催規模に見合った出店者が見込めるか。	出店者募集計画を記載願います(特定地域やグループとの結びつきがある場合はその旨記載願います)。
	十分な来場者が見込まれるか。	会場の立地、広報等の実施計画について記載願います。
②実施方法の効率性	運営規模に対して、設立・運営経費が過大でないか。	経費内訳書(様式1-4)を作成願います。
③経費配分の適正性	経費配分に無駄がないか。	経費内訳書(様式1-4)を作成願います。
(2) 事業の効果		
① 期待される効果	農林漁業者の手取り額の向上が期待できるか。	農林漁業者の手取り額をどのように向上させるか数値目標とその根拠を記載願います。
	都市の消費者にとって魅力的な内容であるか。	売上げや来客数等の数値目標とその根拠及び消費者へアピールするための方策について具体的に提案願います。
② 波及効果	提案内容が独創的であり、他の運営者等への波及効果が期待できるか。	(課題提案書全体で評価します)
(3) 事業実施主体の適格性		
① 実施体制の適格性	計画を着実に実行するために必要な人員の確保、体制が構築されているか。	実施体制(様式1-3)を作成願います。
② 知見、専門性及び類似・関連事業の実績等	事業を運営するために必要な人材が確保されているか。又は、十分な実績があるか。	実施体制(様式1-3)を作成願います。
(4) 課題への対応		
①物流経費の抑制	輸送コストの抑制が期待できるか。	具体的方策及び試算表を作成願います。
②出店者のモチベーションや商品の品質、品揃えの確保	出店者の参加のモチベーションをどのように確保するのか。また、魅力ある品揃え及び品質の確保が期待できるか。	具体的方策をご提案願います。
③自立運営、独立採算、黒字化の達成	2010年4月からの独立採算を想定するとともに2012年度までに単年度損益を黒字化する計画になっているか。また、その実現性はどうか。	2012年度までの損益計算書とキャッシュフローの計画がわかる書類を作成願います。

(注)様式番号は、公募要領に規定する様式の番号です。

2 設立・運営技術の調査及びマルシェの普及(全国事業)

審査項目	評価のポイント	課題提案書 作成のポイント
(1) 事業内容及び実施方法		
①事業の目的趣旨との整合性及び事業内容の妥当性	事業内容が、本事業の趣旨及び目的に合致しているか。	事業内容(様式1-3)に、事業のコンセプトを記載願います。
	設立・運営技術の調査について、現在どのようなノウハウを持っており、また、今後どのように蓄積し、それを広めていくのか。	具体的な事業計画を作成願います。
	マルシェの普及について、妥当な方法であるか。	具体的な事業計画を作成願います。
	マルシェの運営支援について、妥当な方法であるか。	具体的な事業計画を作成願います。
②実施方法の効率性	事業内容に見合った経費となっているか。	経費内訳書(様式1-4)
③経費配分の適生性	経費配分に無駄がないか。	経費内訳書(様式1-4)
(2) 事業の効果		
① 期待される効果	農林漁業者の手取り額の向上が期待できるか。	具体的方策をご提案願います。
	都市の消費者にとって魅力的な内容であるか。	売上げや来客数等の数値目標やアプローチの仕方について具体的に記載願います。
	マルシェ運営の安定化に向けて、効果的な支援が行われているか。	運営者へ支援内容について記載願います。
② 波及効果	提案内容が独創的であり、他の運営者等への波及効果が期待できるか。	(事業計画書全体で判断します)
(3) 事業実施主体の適格性		
① 実施体制の適格性	計画を着実に実行するために必要な人員の確保、体制が構築されているか。	実施体制(様式1-3)を作成願います。
② 知見、専門性及び類似・関連事業の実績等	事業を運営するために必要な人材が確保されているか。又は、十分な実績があるか。	実施体制(様式1-3)を作成願います。
(4) 課題への対応		
①物流経費の抑制	輸送コストの抑制が期待できるか。	具体的方策及び試算表を作成願います。
②出店者やマルシェ運営者のモチベーション及び商品の品質、品揃えの確保	出店者やマルシェ運営者のモチベーションをどのように確保するのか。魅力ある品揃え及び品質の確保が期待できるか。	具体的方策をご提案願います。
③自立運営、独立採算、黒字化の達成	助成終了後の全国事業のあり方について適切なビジョンを持っているか(全ての事業を地域マルシェに引き継ぐことも含む)。	助成終了後の事業のあり方について、具体的に記載願います。また、2012年度までの損益計算書とキャッシュフローの計画がわかる書類を作成願います。
④売上管理システムの導入	売上管理システム(マルシェ・ジャパン・プロジェクト実施の考え方5の(ア)関係)について具体的かつ実現可能な提案がされているか。	売上管理システムについて、その内容及び導入計画について作成願います。

(注)様式番号は、公募要領に規定する様式の番号です。

マルシェ運営者の選定について

マルシェの運営者の選定にあたっては、特定地域にマルシェ運営者が集中することを防止するため、全国を4つのブロックに分け、マルシェ運営者を選定します。

(ブロック別のマルシェ数は想定であり、提案内容や審査の過程で変更されます)。

